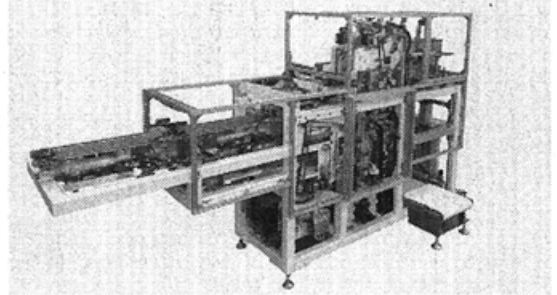


—2014年は高水準の受注が続きました。—  
「当社が得意とする自動化や省力化などで大型設備の受注が多かった。自動車関連など従来顧客にとまらず、梱包装置など衣料や諸工業などこれまで取引がなかった分野から相談が寄せられている。自動化機械で築いた信用が着実に広がってきたと感じている。2015年も高水準の受注が続くと見ている。食品産業など当社にとって新しい分野にも積極的にチャレンジしていきたい」

### 東日本市場開拓を強化

さいたま事業所など 地域で技術対応開始

—東日本市場の開拓強化を打ち出しました。—  
「さいたま事業所、神奈川県や山形市の東北分室といった自社拠点や地元の協力会をさらに高める。東日本に限らず、搬送やエア機器など全ての製品群で標準品を増やし、エンジニアリングを生かしたカスタマイズでニーズに合致したソリューションを提供し、低コストで提供、差別化を図る」



食品・包装業界向け、シート集積袋詰装置



N K E  
中村 道一 社長

—海外拠点開設から1年が過ぎました。—  
「13年10月に中国・広東省の広州市に当社初の拠点を開設、12月にタイの生産委託拠点が立ち上がった。両拠点ともベルトコンベヤーなどの搬送機器など汎用的な自動化機械を生産、現地日系企業を中心に供給している。中国などはリプレイス需要など活況が続いている」

—15年の投資計画は。—  
「情報やノウハウを共有する情報システムの構築を計画している。特注製品などは特定のエンジニアに頼りがち。そこでパソコンなどで蓄積したナレッジを誰もが取り出し、従業員のレベルアップを進めたい。ビジネスユニットごとで独立採算を目指している。システムは実現を後押しし、これからの成長を加速させると期待している」

# 飛躍

# 2015

京滋の有力企業トピックに聞く

# 新たな成長へ積極チャレンジ